

Contents

製品について	2
前書き	2
付属品	2
ドライバ	8
インストールとアップデート	8
ドライバの見方	8
ペンタブレットの設定	10
デジタルペンの設定	15
ドライバの設定	21
デジタルペンの使い方	27
トラブルシューティング	28
ペンタブレットトラブルシューティング	29
デジタルペンのトラブルシューティング	30

製品について

前書き



HUIION Kamvas Studio 24

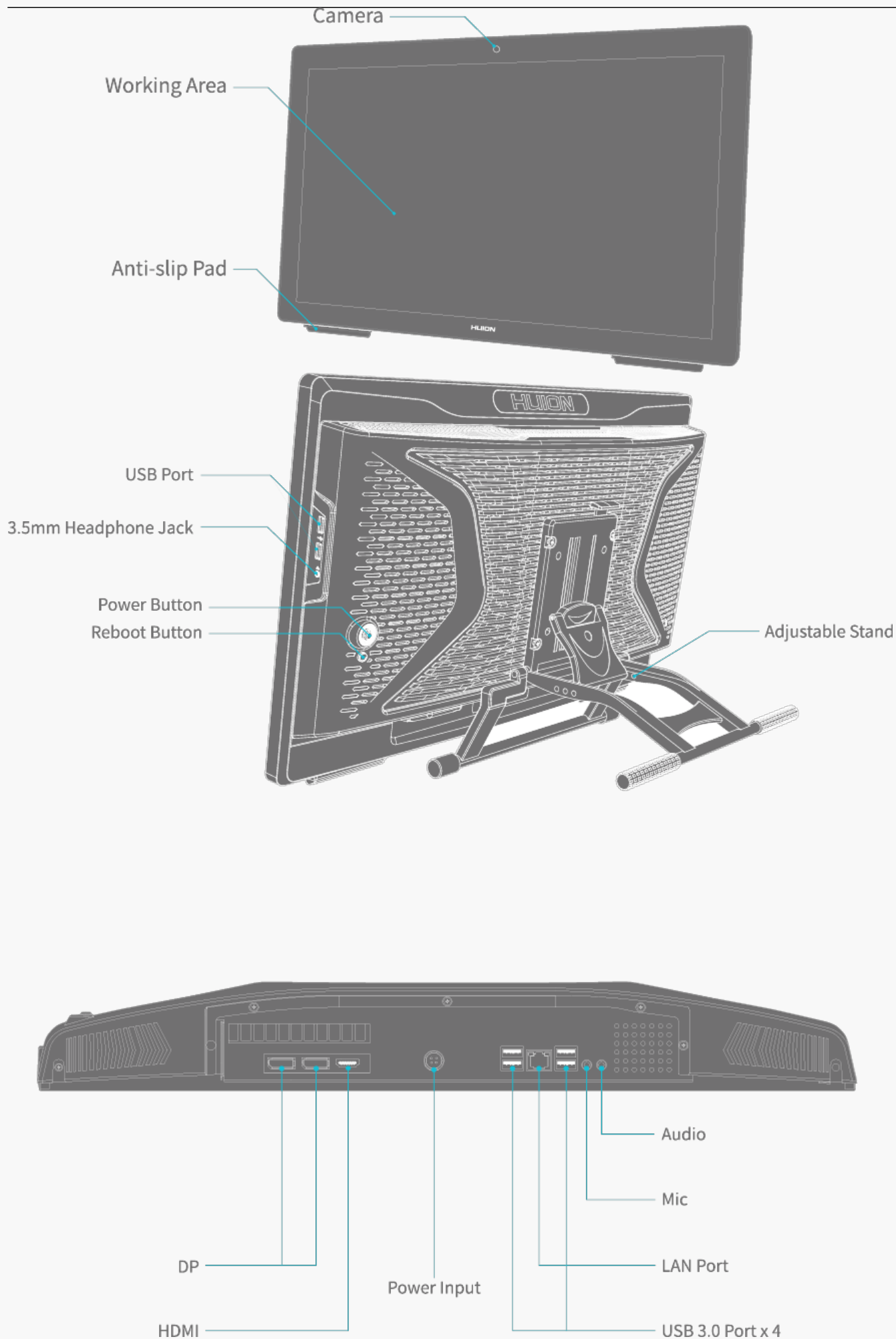
ペンタブレットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

Windows OSを内蔵したKamvas Studio 24は、指でのタッチ操作とペンタッチ操作に対応した、オールインワンのデスクトップ型ペンタブレットです。Kamvas Studio 24は、Webサイトの閲覧、ゲーム、映画鑑賞などPCのように楽しめると同時に、文章作成、お絵かき、グラフィックデザイン、動画編集など、液晶ペンタブレットとしての用途でお楽しみいただける、パワフルで便利な製品です。さらに、PS、AI、SAI、GIMP、Painterなど、多くのプロ仕様のプログラムがKamvas Studio 24上でスムーズに動作します。

この使用説明書をよく読み、本製品をよりよく理解した上でご使用ください。

本書内の写真は一例です。あらかじめご了承ください。

付属品

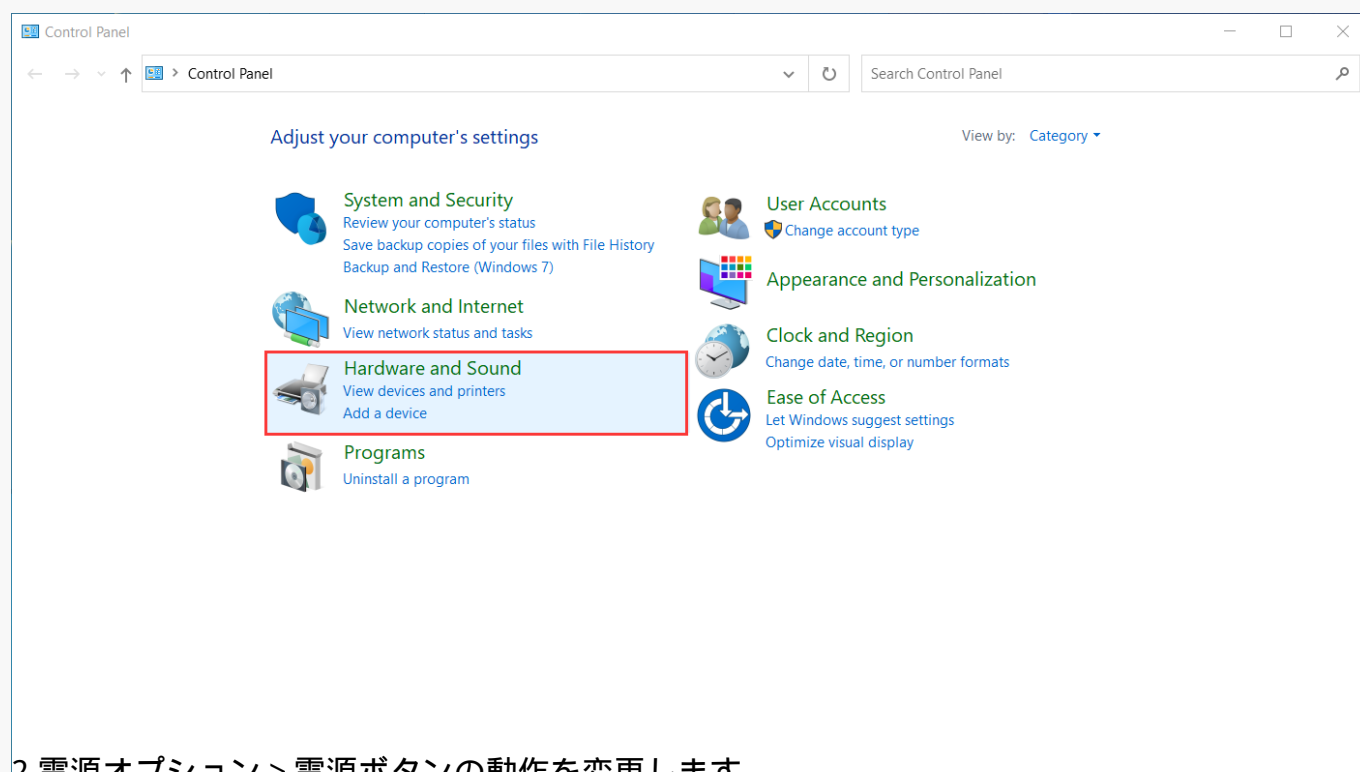


「電源ボタン」を5方向スイッチとして使用することができます。具体的な操作方法は以下の通りです。

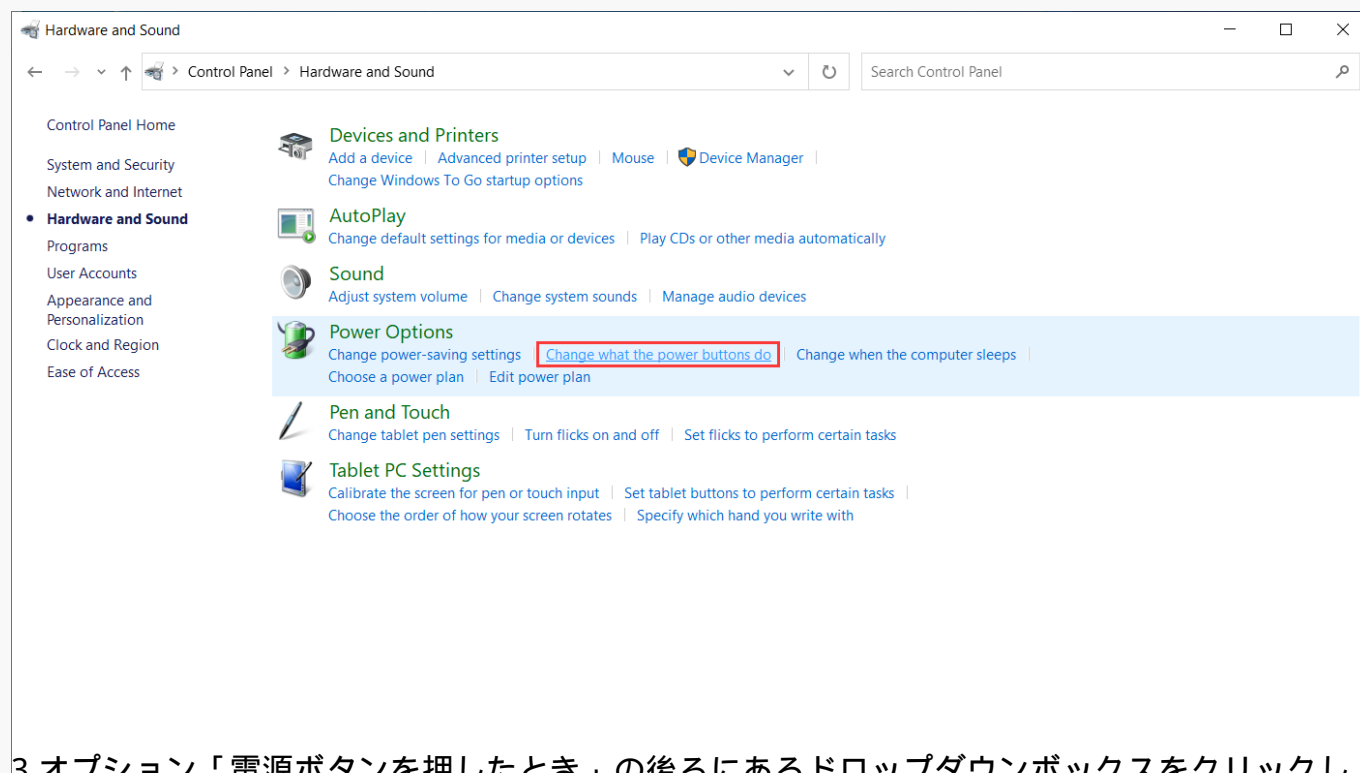
現在の状態		操作方法	機能
オフ	スイッチボタンの中央を押す	ペンタプレットの電源をオンにする	
オン	スイッチボタンを押し上げる	画面の明るさを調整する (+)	
オン	スイッチボタンを押し下げる	画面の明るさを調整する (-)	
オン	スイッチボタンを右に押す	OSDメニューを呼び出す	
オン	スイッチボタンの中央を押す	デフォルトでスリープに入る (システムでカスタマイズ可能です)	
オン	スイッチボタン中央を長押し	ペンタプレットを強制終了する	
OSDインターフェース	スイッチボタンを押し上げる	上	
OSDインターフェース	スイッチボタンを押し下げる	下	
OSDインターフェース	スイッチボタンを左に押す	前のメニューに戻る	
OSDインターフェース	スイッチボタンを右に押す	確認/次のメニューに進む	

「電源ボタン」の機能は、システムで設定変更が可能です。

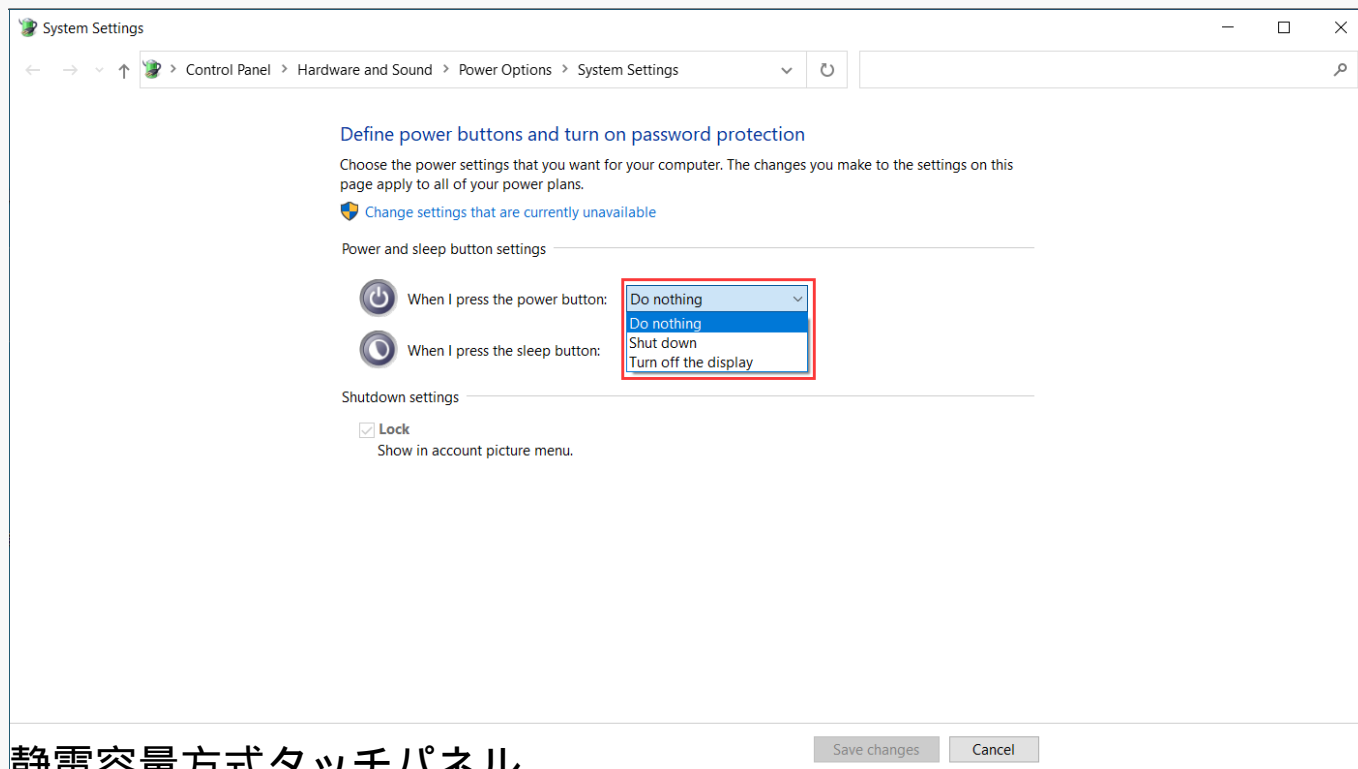
1.コントロールパネル>ハードウェアとサウンドを開きます。



2.電源オプション>電源ボタンの動作を変更します。



3.オプション「電源ボタンを押したとき」の後ろにあるドロップダウンボックスをクリックし、電源ボタンに設定する機能を選択します。



静電容量方式タッチパネル

静電容量方式によるタッチ機能と電磁誘導方式のデジタルペンを連携することで、制作効率を大幅に向上させることができます。

Windowsに搭載されているタッチジェスチャーに対応しています。その他の機能については、ご利用中のソフトウェアが対応しているかどうかで異なります。

一般的な機能

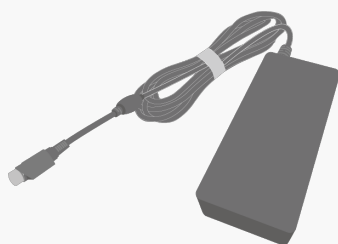
指	ジェスチャー	アクション
指1本	タップ	選択
	ダブルタップ	ファイルを開く
	長押し	その他のコマンドを表示する（右クリックなど）
	長押し&ドラッグ	ファイルを移動する
指2本	水平/垂直にスライド	スクロール
	ピンチイン /ストレッチアウト	ズームアウト/ズームイン
指3本	上にスワイプ	開いているすべてのウィンドウを表示
	下にスワイプ	デスクトップを表示
	左/右にスワイプ	開いているアプリやウィンドウの切り替え
指4本	上にスワイプ	開いているすべてのウィンドウを表示
	下にスワイプ	デスクトップを表示
	左/右にスワイプ	デスクトップの切り替え

注：ドライバでタッチ入力を無効にすることができます。

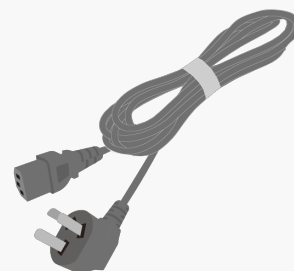
付属品



Adjustable Stand



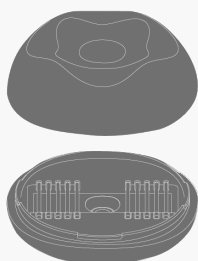
Power Adapter



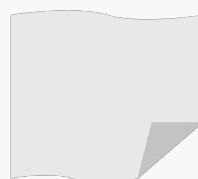
Power cable



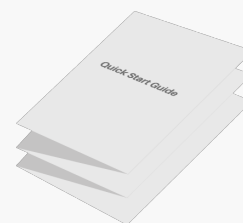
Digital Pen



Pen Holder



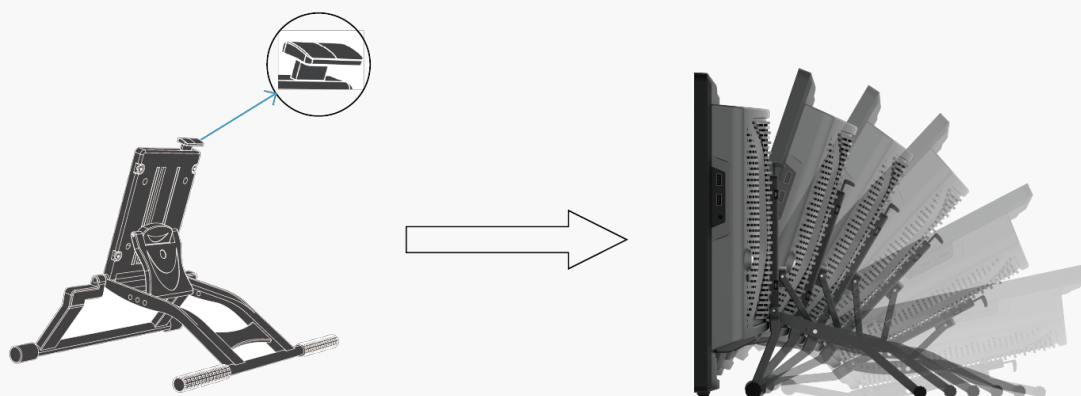
Cleaning Cloth



Quick Start Guide

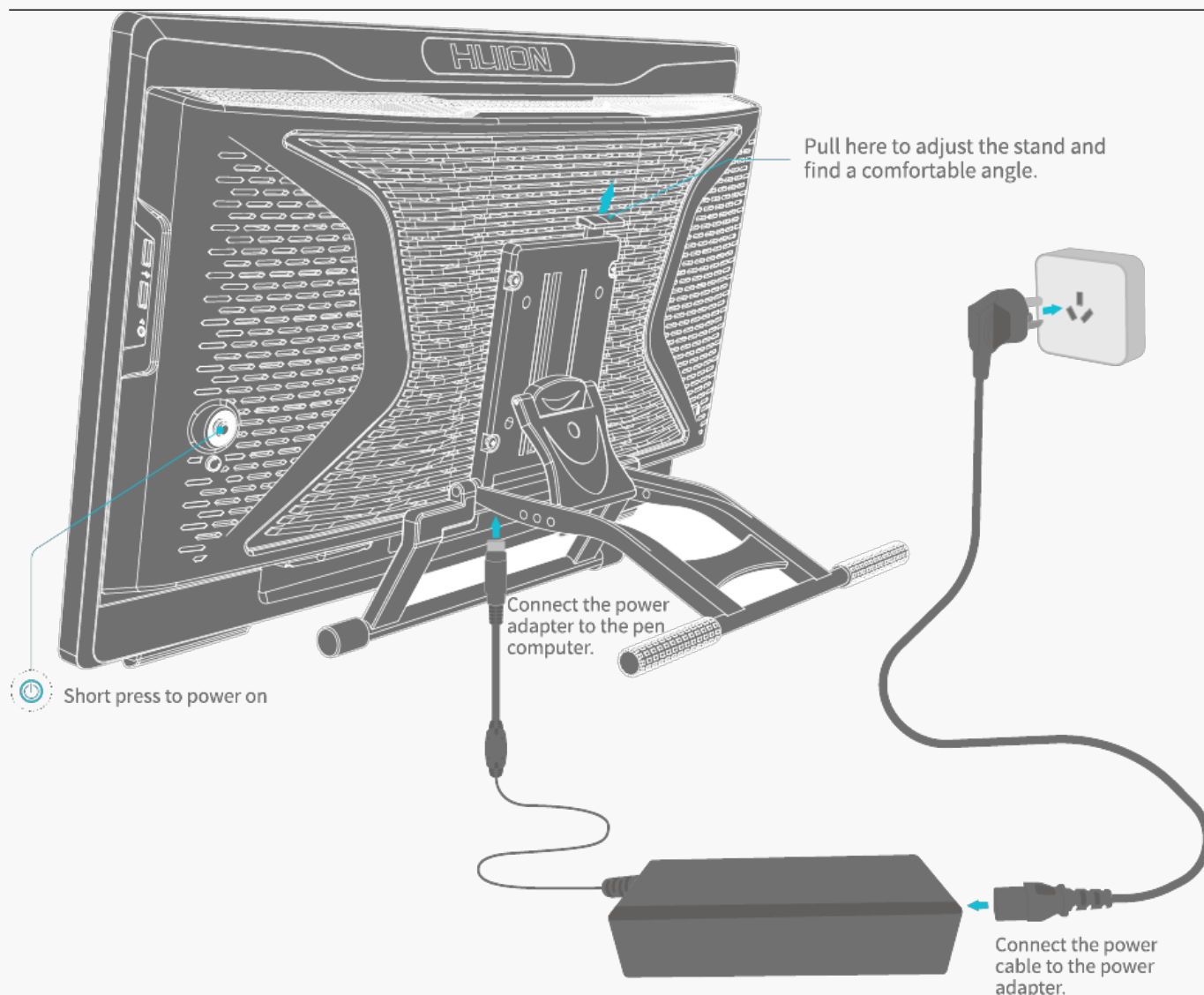
スタンドの調整

この調節可能なデスクスタンドは、オールインワンのペンタブレットのために特別に設計されており、絵を描いたり創作を行う際に、ご自身の習慣に合わせて図に示されたスイッチをドラッグし、快適な角度（ 30° ~ 85° ）に調整してお使いいただけます。

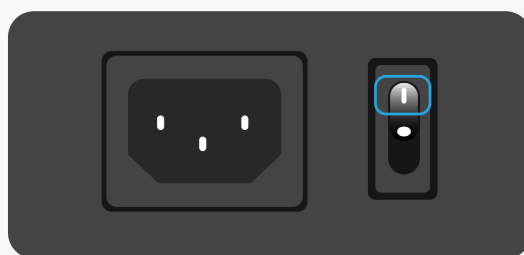


接続する

同梱の電源アダプタと電源コードで、ペンタブレットをコンセントに接続します。POWERボタンを押すと起動します。



※電源アダプタのスイッチを「I」に設定してください。



ドライバ

インストールとアップデート

ドライバは、Kamvas Studio 24にプリインストールされています。

ドライバは随時更新されます。デバイスで最新の機能を利用できるように、当社の公式ウェブサイト www.huion.com/download/ からドライバの確認と更新を行うことをお勧めします。

ドライバの見方



1.ペンタブレット

「ペンタブレット」インターフェースでは、ペンタブレットのワーキングエリアを設定することができます。 [セクションに進む](#)

2.デジタルペン

ペン機能の設定を行います。ショートカットキーやモード設定、筆圧テスト、筆圧感度を設定できます。 [セクションに進む](#)

3.ストア

Huionの公式サイトにアクセスし製品の最新情報やサポートに関する情報を入手できます。他の製品やアクセサリもこちらからご購入いただけます。

4.プログラムの追加

1. [プログラムの追加]をクリックし、デバイスで開いているプログラムを追加します。その他のプログラムは[参照]をクリックし手動で追加します。

2. プレスキー、作業領域、筆圧曲線に関しては、プログラムごとの個別の設定が可能です。プログラムを切り替えると、そのプログラムに応じて設定された機能に自動的に切り替わります

3. [すべてのプログラム]を選択すると、設定がすべてのプログラムで有効にします。プログラムごとに設定を行うには、リストから[プログラムの追加]をクリックします。指定したプログラムを起動すると自動的に設定を変更します。

5. 設定

ドライバーに関する設定を行います。デバイス情報、データのバックアップ、一般設定、ドライバーのバージョン情報を確認できます。[セクションに進む](#)

6. 困ったときは

[?]をクリックするとサポートページ <https://support.huion.com/ja-JP/support/home> にアクセスできます。ユーザーマニュアルのダウンロードや不具合報告にご活用ください。

7. デバイスを切り替える

ドライバーは最大2つのデバイスを同時に接続できます。デバイスごとに機能を設定でき、選択されているデバイスの機能を使用することができます。

ペンタブレットの設定

作業領域タブを選択すると、ペンタブレット上でのペンの動きと、それに対応するモニター上のカーソルの距離の比率を調整することができます。デフォルトでは、ペンタブレットのアクティブ領域全体がモニター全体にマッピングされる設定になっています。

1. アクティブエリア設定

モニターにマッピングされるペンタブレットの領域を定義します。ドライバーの以下の3つのモードが選択可能です。



[1] フルエリア：ペンタブレットのアクティブ領域全体がモニターにマッピングされます。デフォルトで設定されています。

[2] 等倍：このモードでは、デバイスのアクティブエリア比率とディスプレイ表示比率が同じになります。

例：等倍モードで円を描くと、ディスプレイにも同じ比率の円を描画します。この場合、ディスプレイの一部にペンを使用できない領域が残る場合があります。比率を変更しない場合、楕円を描画する場合があります。

[3] カスタム：画面の任意の部分をアクティブエリアとして設定できます。

方法1. 座標を入力します。

方法2. 小さい四角形のアウトラインを変更することで、ペンタブレットの作業領域を調整することができます。また、2つの青色の四角形をドラッグして、画面上とペンタブレット上のデジタルペンのアクティブ領域を選択することができます(画像1、2参照)。

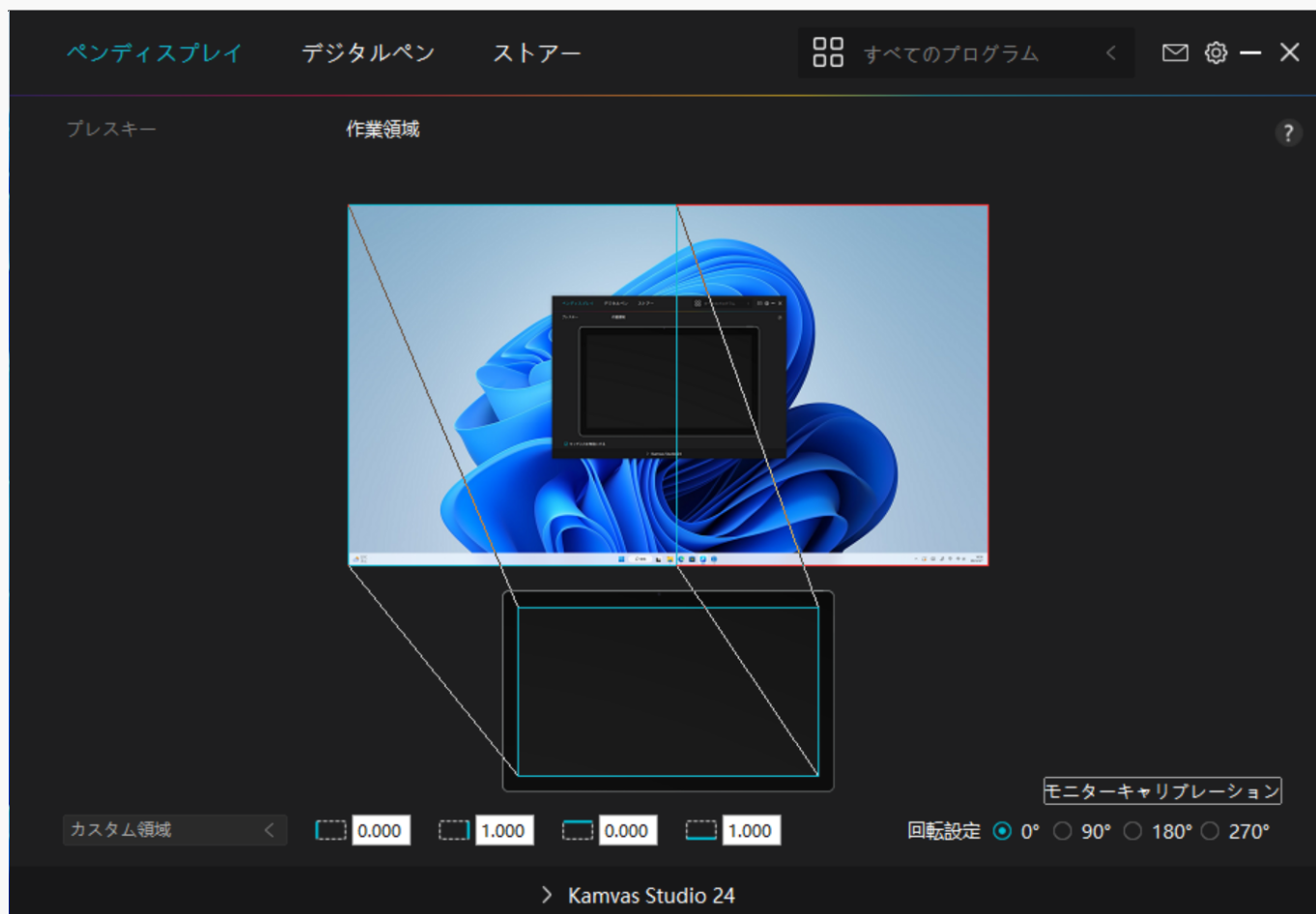


図 1

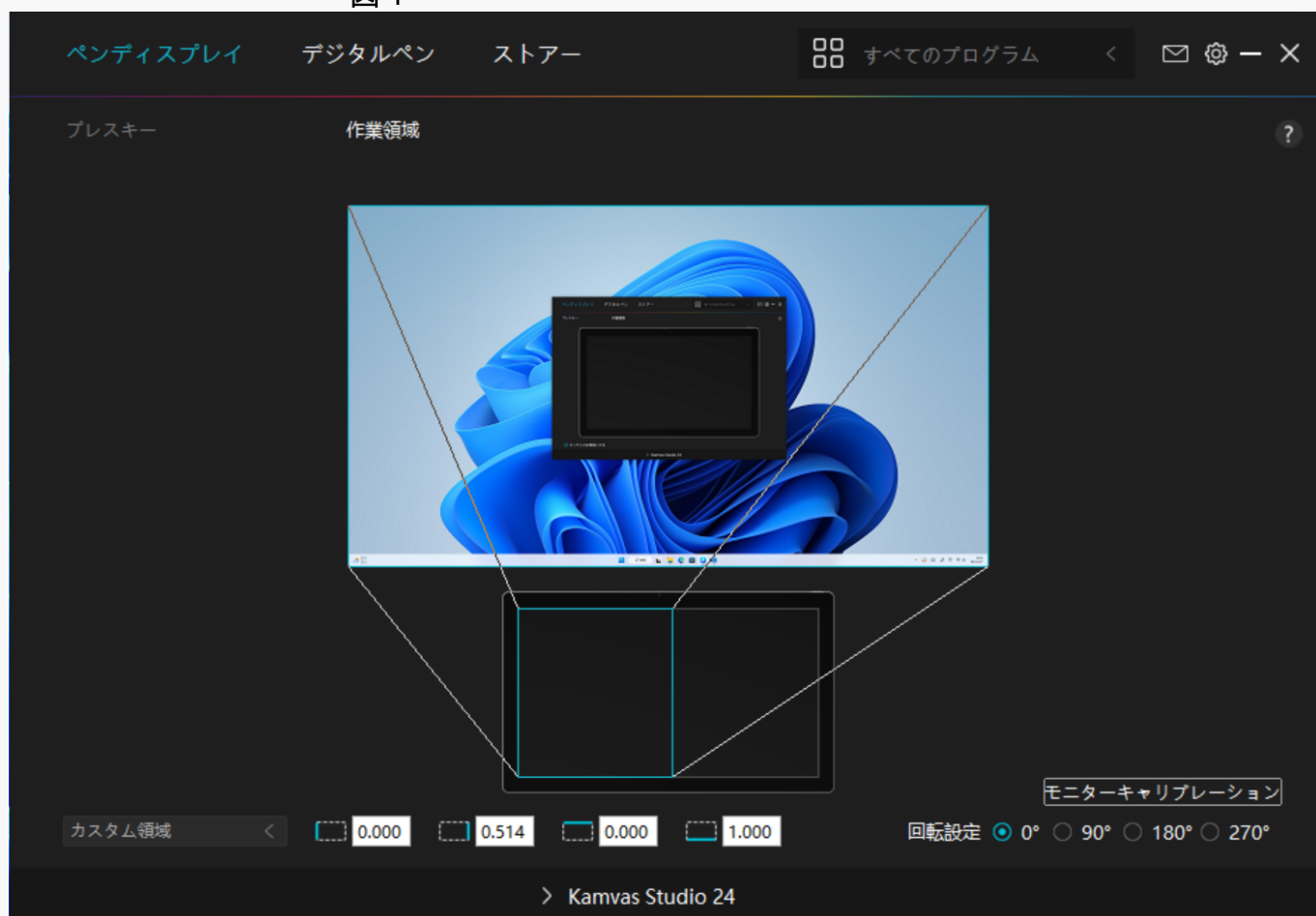
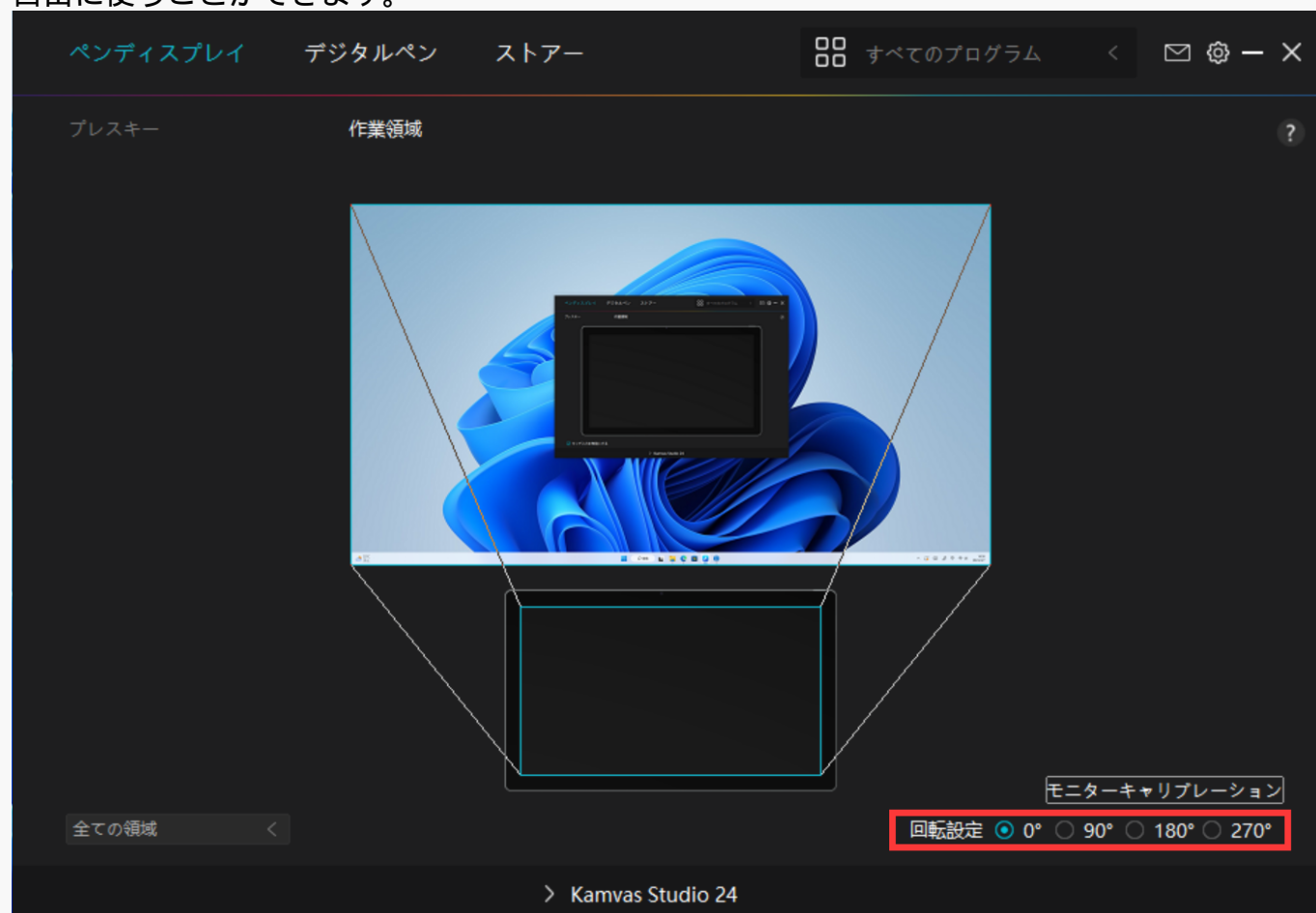


図 2

2. アクティブエリアの回転

本ペンタブレットは0°、90°、180°、270°の回転に対応しているため、左利きでも右利きでも自由に使うことができます。



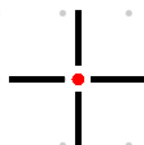
3. キャリブレーション

[キャリブレーション]をクリックし、指示に従って表示位置を調整します。



普段どおりデジタルペンを持ち、十字中心の赤い点をペン先で押し設定してください。

初期設定に戻すには [キャリブレーションをキャンセル]、[デフォルトの復元] を選択します。



ヒント：普段のペンの持ち方でデジタルペンを持ち、十字マークの中央にある赤い点をクリックします

キャリブレーションのキャンセル

再計算

デフォルトに戻す

デジタルペンの設定

1. ショートカットキー

デジタルペンを使用して、描画、書き込み、ファイルの移動、ショートカット機能の呼び出しを行えます。ペンショートカットキーの設定は、ディスプレイのショートカットキー設定と同様の手順で行います。



設定変更が必要かどうかについては、下記の機能一覧を参照してください。

接続するデバイスによって使用できる機能が異なります。

キーボード	入力ボックスに有効なキーの組み合わせを入力して、ショートカットを作成します。
マウスボタン	マウスまたはホイールの機能を選択します。左ボタン、右ボタン、中ボタン、左ダブルクリックができます。
切り替え	画面の切り替え（拡張モードでは複数のモニター使用時）、ブラシの切り替えを割り当てることができます。
プログラムの起動	[参照]をクリックして、任意のプログラムを選択します。設定後はボタンをクリックするとプログラムが起動します。
システムアプリ	画面ロック、スリープ、シャットダウン、デスクトップの表示/非表示、タスクビュー、検索機能などを起動できます。
マルチメディア	前の曲、次の曲、再生/一時停止、音量を上げる、音量を下げる、ミュートなどの機能を実行できます。
プレジジョンモード	精度を通常モードとプレジジョン（精密移動）モードに切り替えることができます。

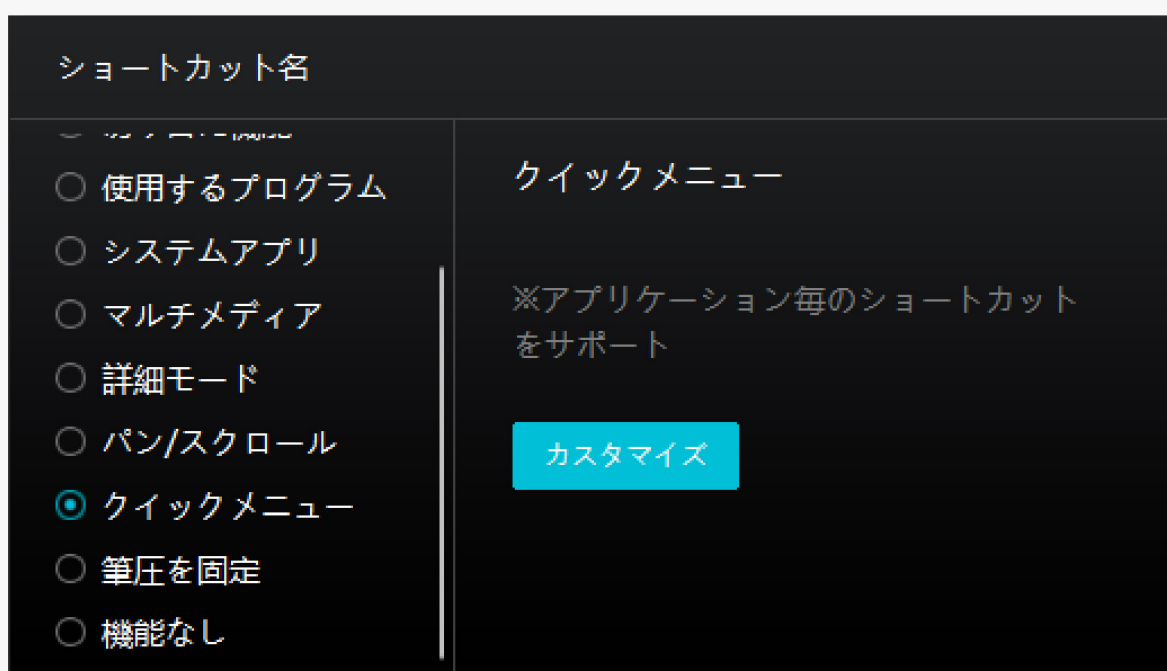
- ・スライダーを動かして精度を調整します。

例：ペンボタンにプレジジョンモードを割り当てた場合、ペンボタンを押すと事前に設定したプログラムが起動します。"Esc"を押すと精密移動モードを終了します。

移動/スクロール	ペン先を上下または左右に動かすことで、ドキュメントやアイテムを移動できる機能です。移動/スクロールを選択すると、速度ウィンドウが表示されます。スライダーを動かして移動速度を調整できます。
----------	---

クイックメニュー	ショートカットメニューのキーを設定できます。機能一覧は下図を参照してください。
筆圧感度固定	任意の筆圧感度で固定する機能です。まず筆圧検知を有効にした状態で描画します。任 すまでブラシサイズを固定したまま描画できます。
機能なし	ボタンを無効にする際は、[機能なし]を選択します。

注：写真は一例です。



[カスタマイズ]をクリックしクイックメニュー画面を開きます(図1)。

割り当てる：ボタンを選び、任意の機能を割り当てます。設定完了後はキーを押して設定した機能を呼び出します(図2)。

修正する：いずれかのボタンをクリックしメニューを非表示にします。「固定」をクリックし、「修正」に切り替わったらドラッグして機能を修正します。修正したら「閉じる」を押して終了します(図3)。

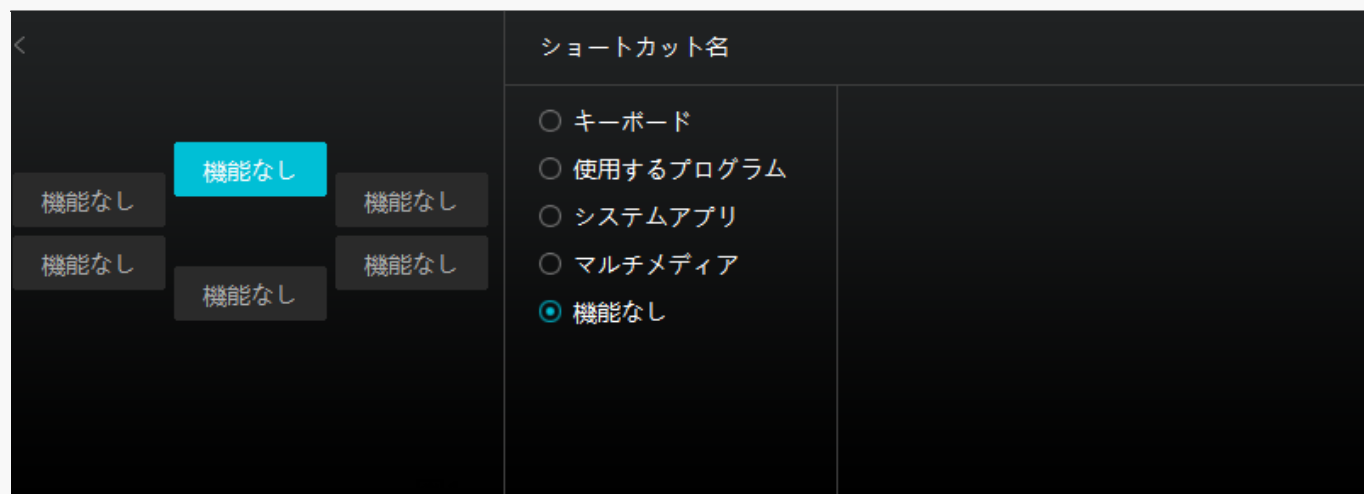


図 2



図 3

2. ペン先のアクティブ化

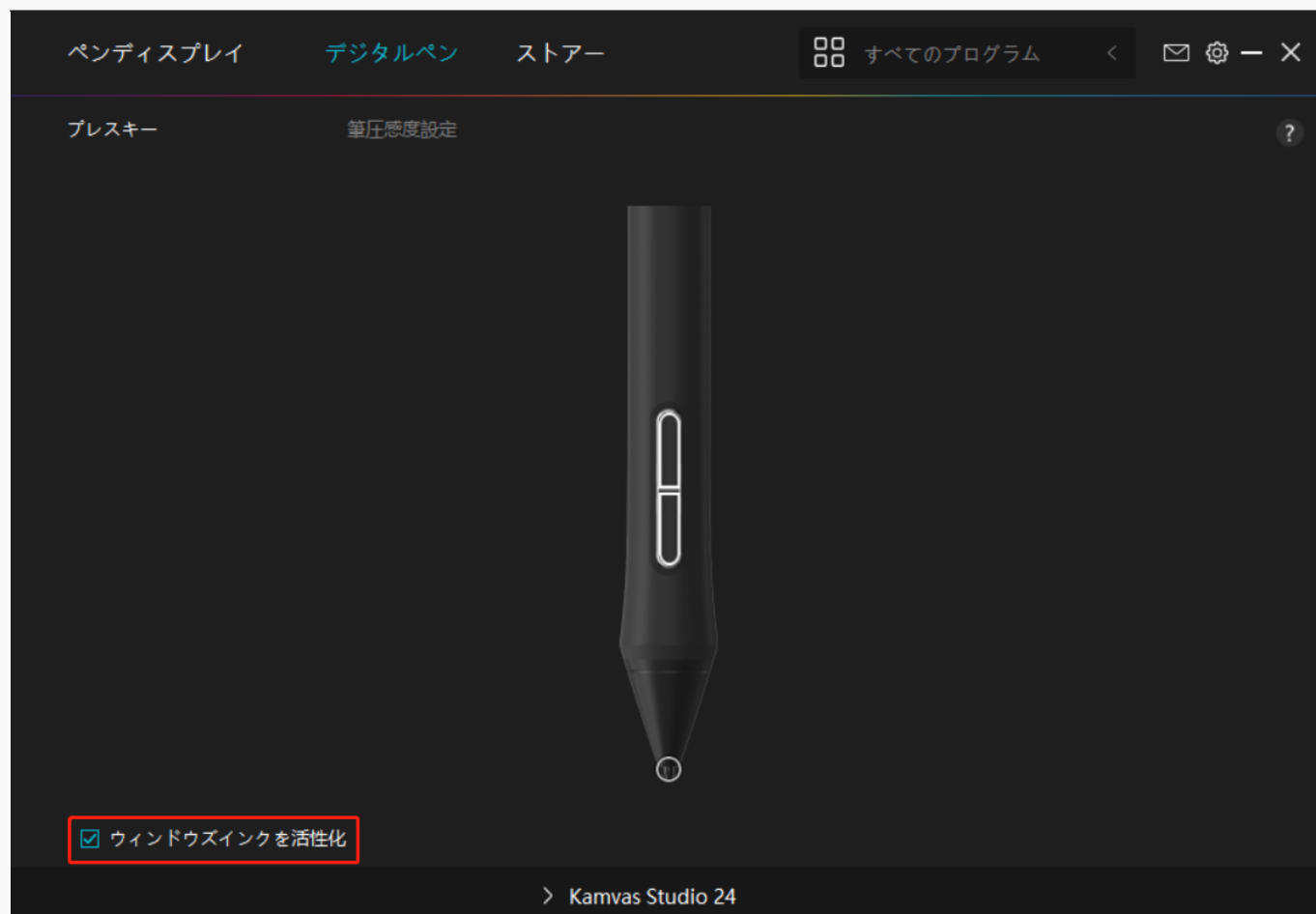
用途に合わせてペン先のアクションを選べる機能です。リストから有効/無効のいずれかを選んで設定してください。無効にするとカーソル移動のみをサポートし、クリックを無効化します。

。



3.Windows Inkの有効化

Microsoft Windowsは、デジタルペンによる手書き入力を独自にサポートしています。Microsoft Office、Windows Whiteboard、Adobe Photoshop CC、SketchBook 6などで手書き入力を使用するには、ドライバーで「Windows Inkを有効にする」にチェックを入れます。



4. 筆圧感度の調整

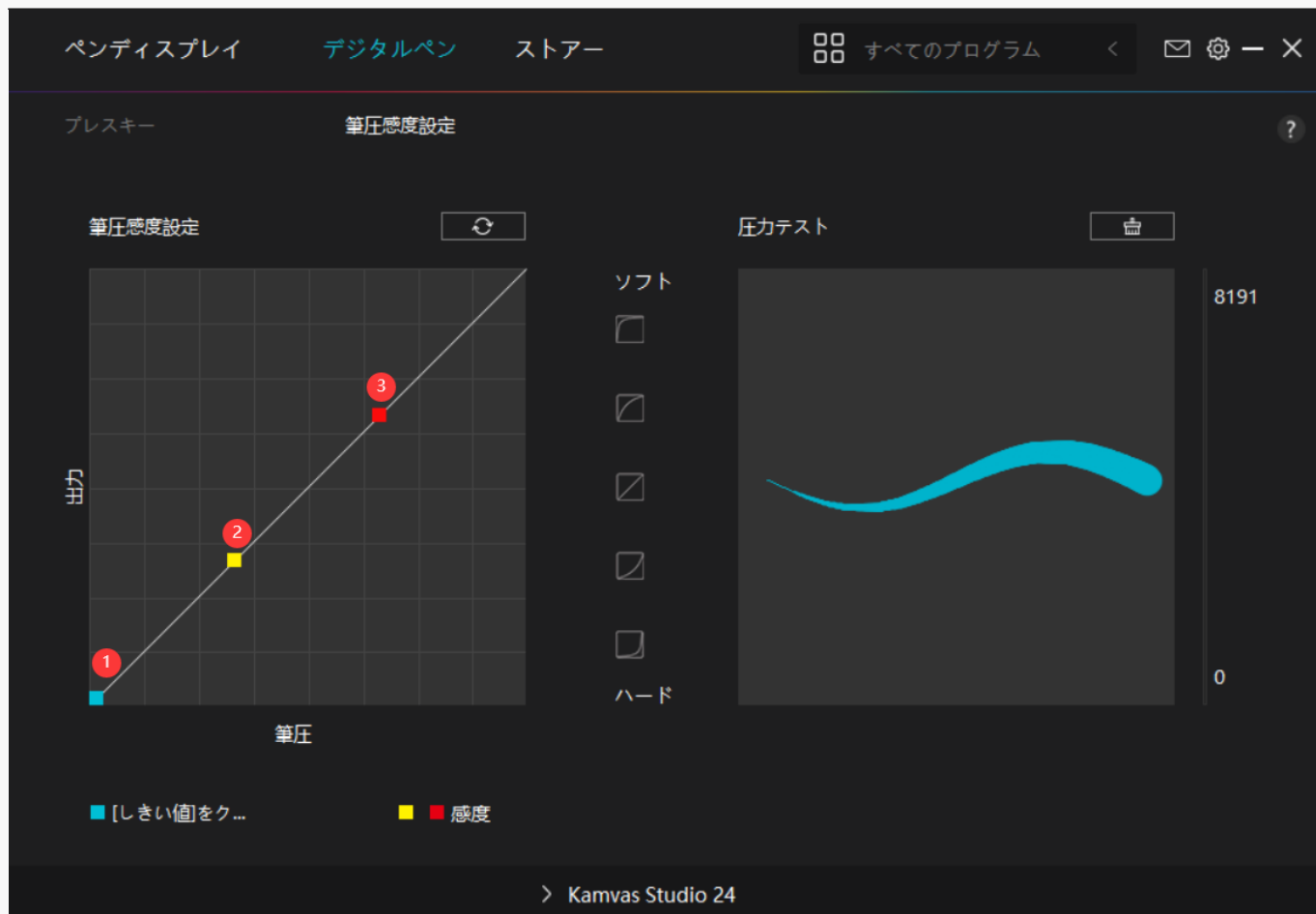
筆圧感度を設定する機能です。筆圧感度ボックス内のスライダーをドラッグしてカーブを調整します。リセットするには右上の「やり直し」をクリックします。5種のプリセットからレベルを選ぶこともできます。

1. クリック音や感触を設定
2. 筆圧感度のカーブを設定
3. 筆圧最大時のレベルを設定

・筆圧テストボックス内で線を描き、現在の筆圧感度を確認できます。

見づらくなったら上の [消去] をクリックし、適切な感度になるまで調整を行います。

・カーブが急になるほど感度が高くなります。



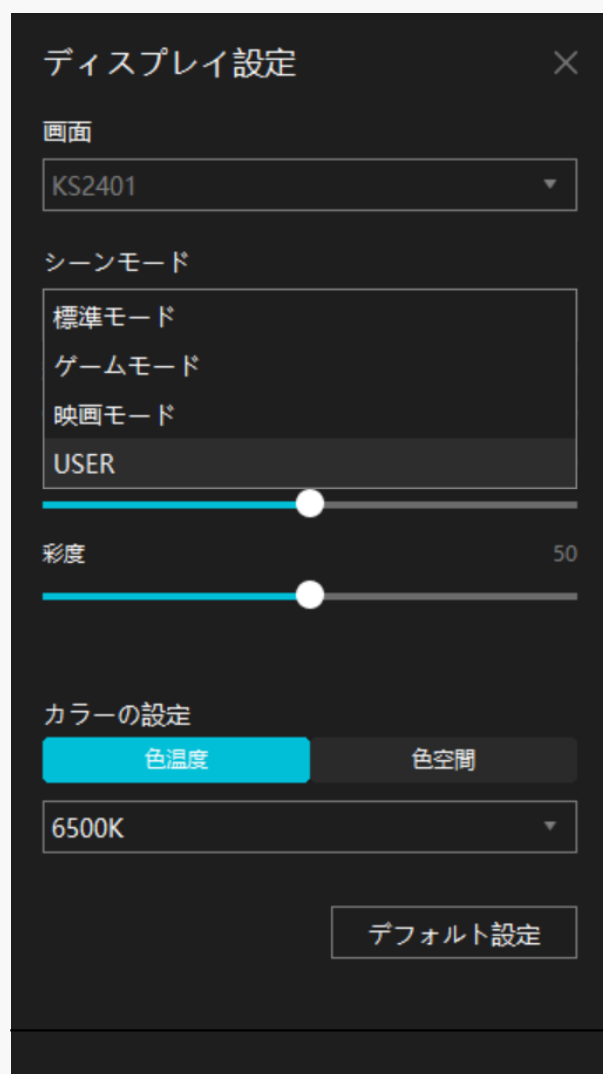
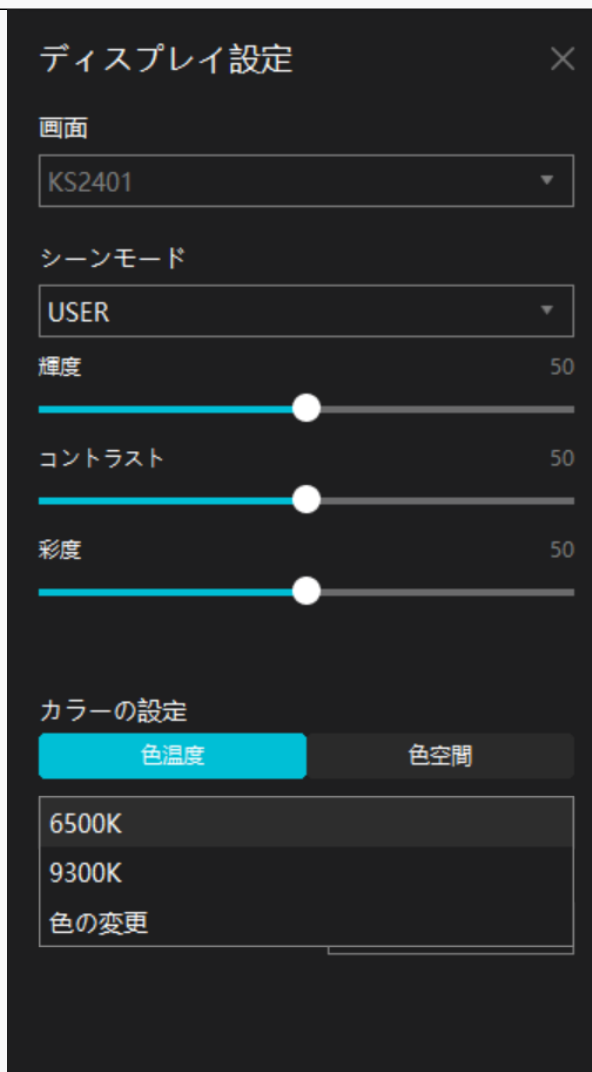
ドライバの設定

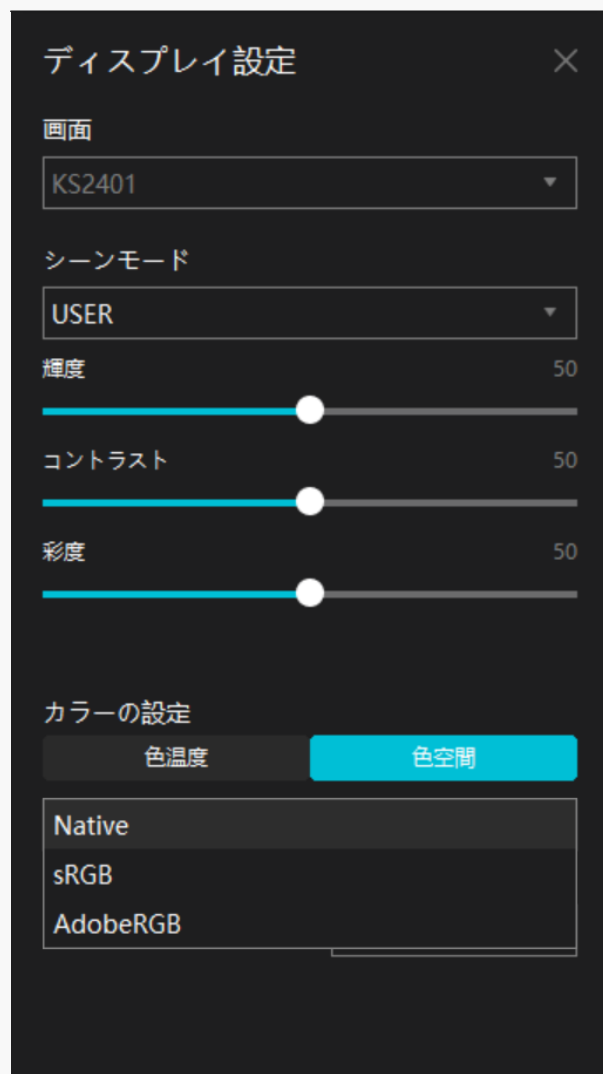
1. デバイス

ここでは、製品情報およびファームウェア情報をご覧いただけます



* ディスプレイ設定





シーンモード：「標準モード」、「ゲームモード」、「ムービーモード」、「USER」の中から選択可能です。

明るさ：対応するスライダーをドラッグすることで、画面の明るさを調できます。

コントラスト比：対応するスライダーをドラッグすることで、画面のコントラスト比を調整できます。

色温度：「6500K」、「9300K」、「カスタムカラー」の中からモードを選択することができます。「カスタムカラー」モードでは、RGBの値を調整することで色温度をカスタマイズできます。

色空間：「ネイティブ」、「sRGB」、「AdobeRGB」を選択できます。「ネイティブ」色空間では、「明るさ」「コントラスト比」「彩度」を自由に調整・選択することができます。

「sRGB」と「Adobe RGB」の色空間では、2つの色空間の基準を可能な限り満たすために、「USER」モードの「明るさ」のみの調整が可能です。

2.バックアップ

ドライバのカスタム設定はインポート/エクスポートが可能のため、別のデバイスを起動する際に設定を再度行う必要がなくなります。デフォルト設定とは、現在のデバイスのすべての設定をカバーし、デフォルトの設定に戻すことを意味します。



3. 一般設定

言語：リストから使用する言語を選択します。

色：ドライバインターフェースの配色を変更します。

スタートアップ：[自動開始]、[新しいメッセージ] [自動更新] [バッテリー残量警告]をの有効/無効を設定します。

ホットキー：ドライバーをすばやく呼び出せるようホットキーを設定できます。



4. その他

ドライバのバージョンを確認できます。「アップデートの確認」をクリックすると最新バージョンを確認できます。

新しいドライバがある場合は指示に従ってアップデートを行います。

クリックや描画ができない、またはソフトウェアで筆圧感知がされない場合は「ソフトウェア診断」をクリックして原因を調べてください。具体的な操作方法は、[こちら](#)をクリックしてください。



デジタルペンの使い方

ペンの持ち方:

ペンを持つときと同じようにデジタルペンを持ちます。親指や人差し指でペンのキーを押せるように向きを調整してください。使用時に誤って触れないようご注意ください。注ペンを使用しないときは、テーブルの上に置いてください。ペンタブレットの上にペンを置くと、マウスなどのデバイスの機能を妨げたり、PCがスリープモードになってしまう可能性があります。

カーソルの移動:

タブレットの液晶表面に触れずに、作業領域より少し上にペンを移動させると、その動きに応じて画面上のカーソルが新しい位置に移動します。

クリック:

クリック：ペンで画面を1回タップ。

選択：タップしたままオブジェクトをなぞる。

開く：ペンでダブルタップ

移動:

アイコンやファイルなどのオブジェクトを動かすには、ペン先を当てたまま移動させます。

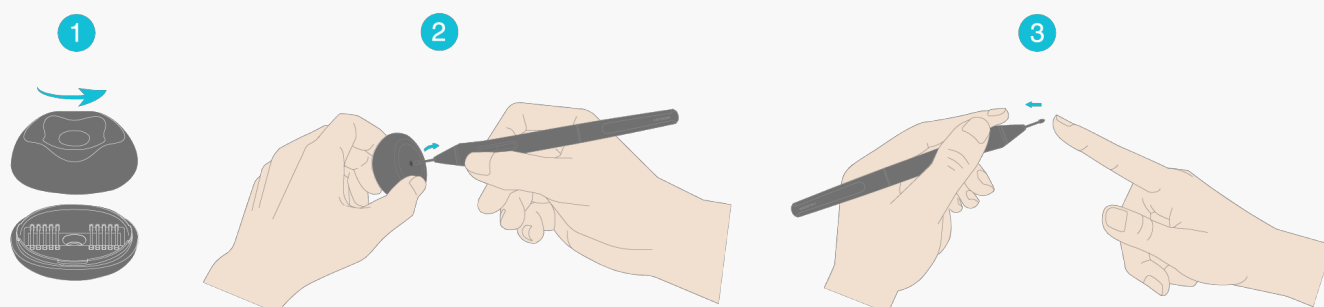
ショートカットキーを活用する:

デジタルペンのショートカットキーは、ドライバーインターフェイスで設定を行います。ショートカットキーを使用時はペン先とディスプレイの間を10mm以内に保持してください。

ペン先を交換する:

ヒント：ペン先が摩耗したら新しいペン先と交換してください。

- 1.ペンホルダーを反時計回りに回転させ、交換用のペン先を取り出します。
- 2.ペン先クリップを通して古いペン先を引き抜きます。
- 3.新しいペン先を奥までしっかりと挿入します。



トラブルシューティング

カーソルが動くのに筆圧を検知しない

ドライバインストール時に、他のドライバをインストールまたはグラフィックソフトウェアを起動した可能性があります。すべてのドライバーをアンインストールし、起動中のソフトウェアをすべて閉じてから、ドライバーを再インストールします。インストールが完了したら、コンピュータを再起動してください。

デジタルペンが使えない。

- 1.本機に付属していた純正ペンを使用してください。
- 2.ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。

本体のショートカットキーが使えない

- 1.ショートカット機能が有効になっているか確認してください。
- 2.ショートカットキーが正しく設定されているか確認してください。

パソコンがスリープモードにならない

ペンディスプレイのアクティブエリアにデジタルペンを置いていませんか？

デジタルペンを本機から離して保管してください。

デジタルペンのショートカットキーが使えない

ペン先をディスプレイの表面から10mm以内に保持してください。離れすぎると検知しなくなります。

パソコンがペンディスプレイを認識しない

USBポートに異常がないことを確認します。問題がある場合は別のUSBポートを使用してください。

問題が解決しない場合は [[FAQ](#)] をクリックしてトラブルシューティングをご覧ください。または当社カスタマーセンター (service@huion.com) まで電子メールにてお問い合わせください。

ペンタブレットトラブルシューティング

問題	解決方法
電源ランプが点灯しない	<ol style="list-style-type: none"> 1.電源が接続されているか確認する。 2.ソケットと電源コードを確認してください。 3.アダプタのスイッチがONになっているか確認してください
画面に何も表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1.電源が入っていることを確認してください。 2.アダプタのインジケータランプが点灯しているかどうかを確認してください。状態は、信号がないことを意味しています。この場合は、コンピュータを再起動してください。 3.信号が途切れたり不安定な場合は、信号元を確認してください。
ペンタッチが反応しない	<ol style="list-style-type: none"> 1.ドライバが正常にインストールされているかどうかを確認し、ドライバの再インストールを行ってください。 2.デジタルペンのペン先が「有効」に設定されているかを確認してください。「無効」になっている場合は有効にしてください。
ペンタッチの反応が遅すぎる	<ol style="list-style-type: none"> 1.プログラムによってCPUが占有されているか、プロセスが多く実行されている可能性があります。使用しているプログラムのプロセスを終了してください。

	2.画面にゴミが付着し、動作に影響を及ぼしている可能性があります。ペンタブレット
色ずれ	色温度は地域によって異なるため、軽度な色ずれは正常な現象です。
画面にノイズや波打ちが起こる	近くにペンタブレットを妨害するような電子機器がないかどうかを確認してください。
画面がぼやける	画面解像度を初期設定に変更してください。

問題が解決しない場合は [[FAQ](#)

] をクリックしてトラブルシューティングをご覧ください。または当社カスタマーセンター (service@huion.com) まで電子メールにてお問い合わせください。

デジタルペンのトラブルシューティング

問題	解決方法
カーソルが移動できる状態で、ペンタブレットが筆圧を感知しない。	1. ドライバが破損していたり、間違っしてインストールされている可能性があります。アンインストールしてから、再インストールしてください。 2. PCの再起動を試してください。
デジタルペンが使用できない。	1. ペンタブレットに付属されているペンを使用していることを確認してください。 2. ドライバが正しくインストールされているかを確認してください。
プレスキーが反応しない。	1. ドライバのプレスキー機能の設定が有効になっていることを確認してください。 2. プレスキーの機能が正しく設定されているかどうかを確認してください。
PCがスリープモードに移行しない。	デジタルペンを使用しないときは、ペンタブレットの作業領域にペンを置かない。置かれた状態だとPCがスリープモードになりません。
デジタルペンのプレスキーが反応しない。	ペン先とペンタブレットの作業領域または作業領域の表面との垂直距離が10mm以内。ペンのプレスキーが動作しません。
カーソルにエラーが発生する。	キャリブレーションを再度行ってください

問題が解決しない場合は [[FAQ](#)

] をクリックしてトラブルシューティングをご覧ください。または当社カスタマーセンター (service@huion.com) まで電子メールにてお問い合わせください。